

2020年度

# グローバルマネジメント研修

～体験型リーダー育成プログラム～

世界経済は、米中貿易摩擦の影響を受け緩やかな減速が見込まれています。我が国経済も、世界経済の動向から輸出の頭打ちや、内需の先行きが懸念されています。また、我が国とOECD諸国との生産性格差の縮小や、少子高齢化による労働力不足の解消、働き方・休み方改革、AI・IoTといった新技術への対応など、解決すべき課題は山積しています。

こうした状況をわが国企業が打開していくには、積極的に世界に視野を広げて市場や働き手、新しい技術や方法論を求め、海外人材・企業と柔軟な協力関係構築を探る必要があります。とりわけ企業にとって、それらを推進する、世界で活躍できる人材を育成し続けることが不可欠です。世界で活躍する人材には、以下ののような能力が強く求められています。

- ・異なる環境で多様な人々と意識をあわせることができるコミュニケーション能力
- ・実践の場で臨機応変にリーダーシップを発揮していく能力
- ・環境の相違を踏まえながら、戦略・戦術をつくり着実に実行する・させる能力
- ・各種の問題に対して、主体的に解決する能力

このような力を持った人材を育成するには、異文化の環境下で実際に体験し自ら学び気づくこと、そしてその成果を活用・実践してステップアップいただくことが最も効果的です。

「グローバルマネジメント研修」は、欧米の大学や専門家のセミナー、および現地企業や現地日系企業の視察を通じてマクロとミクロの両面を学びます。さらに、家庭訪問や産業人との交流プログラムなど現地の人々との交流から、文化や習慣に起因する日本との考え方の違いを体感することができ、グローバルな感性を磨いていただくことができます。

## ◆アメリカコース

事前研修会

2020年9月25日(金)

本研修

2020年10月18日(日)～25日(日) 8日間 (ニューヨーク、シアトル)

## ◆ヨーロッパコース

事前研修会

2020年10月5日(月)

本研修

2020年11月1日(日)～8日(日) 8日間 (プラハ、デュッセルドルフ)

対象者：企業・団体の部長、課長、支店長、プロジェクトリーダー等のマネジメントの中核を担う  
中堅幹部・経営幹部および労働組合の幹部の方、将来の幹部候補の方

(定員は各15名)



公益財団法人 日本生産性本部

Japan Productivity Center

## 研修目的

### 1. 「知識」を習得する

優れた企業や現地公的機関並びにビジネススクール等を訪問し、先進的な取り組みや事例を学ぶとともに、これからビジネストレンドを理解します。

### 2. 「感性」を磨く

現地産業人との交流・議論、現地市場視察、家庭訪問といった密度の濃い様々な体験型プログラムを通して、グローバルに通用する感性を磨きます。

### 3. 「ネットワーク」を形成する

訪問企業や団体の方々との交流をはじめ、異業種の参加者同士が行動を共にすることで、今後のビジネスに役立てられる業種横断的なネットワークを形成します。

## プログラムの構成・特徴

当本部のグローバルネットワークを活用し、各種研修実績に基づいたプログラムを提供いたします。

### 企業・団体訪問

訪問都市・地域の先進的な取り組みや、優れた現地企業の取り組みを学び、意見交換ができます。

### 現地セミナー

訪問国の政治・経済・社会の最新トレンドを把握するため、一線で活躍する専門家、学識経験者によるセミナーを実施します。

### 家庭訪問や現地産業人との夕食懇談会

米国的一般家庭訪問や欧州の現地産業人との夕食懇談会等を通して、異文化体験・異文化理解ができます。

### 異業種交流

事前研修会や現地研修の機会を通して、様々な業界・職種の参加者と相互交流の場を提供します。

## 地域別テーマ

### アメリカコース

世界経済の中心と言われて久しいアメリカは、日本とも政治的・経済的に結びつきの強い国です。コーポレートガバナンスやダイバーシティ、CSR／CSV(共有価値創造)といった経営手法や優れたリーダーシップ教育は、同国の競争力の源泉であり、日本企業にも積極的に導入されています。

また、「ハイテク産業のシリコンバレー」、「バイオテクノロジーのボストンエリア」、など、活発な新規事業・市場創出に後押しされた世界有数の産業クラスターがあることも特徴です。

本コースでは、「世界の最新情報の集積地ニューヨーク」と「IT・航空産業など優良企業の集積地シアトル」の2都市を訪問します。現地では、変革を続けるアメリカ産業界の最新ビジネストレンド、マーケティング、CSR活動、SDGs、ダイバーシティ施策等の最新事例を学び、日本企業がグローバルな経営環境の変化に対応するための方法を探ります。



### ヨーロッパコース



欧州は、歴史の中で「統合と分離」を繰り返してきました。この政治・経済・文化的な「統合と分離」の連続の中で、個々の歴史を大切にしながら多様性を受け入れる素地が出来上がりました。「ブランド」の概念も、市場で自身の商品であることを証明し、その品質を保証するための仕組みとして生まれました。

そのほか、多様な社員の活躍や柔軟な勤務形態を可能にする働き方への考え方や、「多様性=強み」と捉えた活発なイノベーションの取り組み、SDGsといった世界レベルでの社会課題解決への挑戦など、日本企業にとって参考となる事例が多くあるのが欧州です。

本コースでは、こうした欧州文化を肌で感じながら、新たな価値を生み出す欧州社会・企業に学び、日本企業が進むべき道を探ります。

# アメリカコース 8日間

変革を続けるアメリカ産業界の最新ビジネストレンド、CSR活動、SDGs、ダイバーシティ施策等の最新事例を学び、日本企業がグローバルな経営環境の変化に対応するための方法を探ります。また、家庭訪問や地域交流プログラムでは、働き方や生活観などをテーマに日米の文化の相違を感じながら、グローバル・マインドを醸成します。

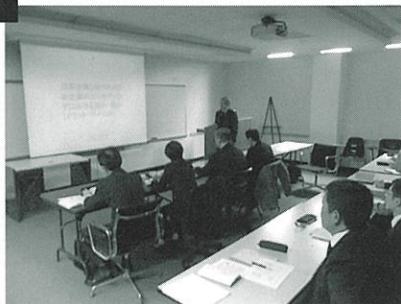
	日 時 都 市	プロ グラム
1	10/18(日) ニューヨーク	成田または羽田空港発 午後：ニューヨーク着
2	10/19(月) ニューヨーク	午前：公式プログラム (企業・団体訪問) 午後：市内視察
3	10/20(火) ニューヨーク	午前：公式プログラム (大学セミナー) 午後：課題調査実践活動／自主研修
4	10/21(水) ニューヨーク シアトル	午前：空路、シアトルへ 午後：市内視察
5	10/22(木) シアトル	午前：公式プログラム (企業・団体訪問) 午後：課題調査実践活動／自主研修 夕刻：家庭訪問
6	10/23(金) シアトル	午前：地域交流プログラム (現地の学校を訪問予定) 昼刻：最終評価会 夕刻：課題調査実践活動／自主研修
7	10/24(土) シアトル	空路、帰国の途へ
8	10/25(日) 東京	午後：成田または羽田空港着

※プログラムは訪問先の都合等により変更になる場合がございますので、あらかじめご了承下さい。



## 地域交流プログラム (写真左)

地元の高校で日本についてのプレゼンテーションを行い、生徒と一緒に実践する参加者



## 企業訪問 (写真右)

ニューヨーク市立経営大学院で、日米マーケティング比較についての講義とディスカッション

## ■近年の訪問先・訪問テーマ

### ニューヨーク市立大学経営大学院

(ビジネススクール)

「日米マーケティング比較」

### コロンビア大学経営大学院(ビジネススクール)

「日米経済比較」

### ニューヨーク大学経営大学院

(ビジネススクール)

「変化する環境の中での組織行動」

### ボーイング(航空機)

「CSR(企業の社会的責任)」

### ピーエムアイ(製造)

「米企業の社会貢献活動」

### シアトル・グッドビジネス・ネットワーク

(非営利団体)

「地域経済振興」

### ルーズベルト・ハイスクール

(シアトル公立高等学校)

「地域交流プログラム～日本文化や方言紹介」

## ■本コースの特徴

### 1. 大学講義

米国の大学において、日米の政治・経済の違いや「IoT」、「ビッグデータ」を活用したマーケティング先進事例を学ぶことで、日本企業がグローバルな経営環境の変化に対応するための方法を探ります。

### 2. 企業訪問

米国の企業が、一見コストと見られるがちな「CSR」や「ダイバーシティ」などを、「売上につながる手段」として戦略的に考え、取り組む事例を学び、広い視点での問題意識を醸成します。

### 3. 地域交流プログラム

米国の高等学校を訪れ、日本の文化・習慣についてのプレゼンテーションやディスカッションを通して、日米の違いや異文化に対する理解を深めます。

### 4. 家庭訪問

米国的一般家庭での交流から、異なる環境で多様な人々と調和できるコミュニケーション力の向上を目指します。

# ヨーロッパコース 8日間



2020年は、欧州市場への地の利、優秀な人材、堅調な経済で注目のチェコ共和国の首都プラハ、日本企業の進出も多いドイツ連邦共和国のルール工業地帯の中心都市デュッセルドルフを訪問します。

様々な価値観を受入れてきた歴史を感じながら、多様な社員の活躍や柔軟な勤務形態を可能にする働き方への考え方、イノベーション事例、SDGsなど社会課題解決への取り組みなど、日本企業が進むべき道を探ります。

	日 時 都 市	プロogram
1	11/1 (日) プラハ	成田または羽田空港発、欧州内空港乗継 午後：プラハ着
2	11/2 (月) プラハ	午前：市内視察 午後：課題調査実践活動／自主研修
3	11/3 (火) プラハ	午前：公式プログラム (EUセミナー) 午後：課題調査実践活動／自主研修
4	11/4 (水) プラハ発 デュッセルドルフ着	午前：公式プログラム (企業・団体訪問) 午後：空路、デュッセルドルフへ
5	11/5 (木) デュッセルドルフ	午前：公式プログラム (企業・団体訪問) 午後：課題調査実践活動／自主研修 夕刻：産業人との夕食懇談会
6	11/6 (金) デュッセルドルフ	午前：公式プログラム (企業・団体訪問) 昼刻：最終評価会 夕刻：課題調査実践活動／自主研修
7	11/7 (土) デュッセルドルフ発	昼刻：空路、欧州内空港乗継、 帰国の途へ
8	11/8 (日) 東京	午前：成田または羽田空港着

※プログラムは訪問先の都合等により変更になる場合がございますので、  
あらかじめご了承下さい。



## 現地団体訪問（写真左）

Digital Poland Foundation  
でのプレゼンテーションと  
意見交換



## 現地企業訪問（写真右）

WeWork 社のコワーキング  
スペース見学

## ■近年の訪問先・訪問テーマ

Digital Poland Foundation/Applica.ai LTD (AI産業)  
「ポーランドのAI産業の現状と未来/  
AI活用成長戦略」

フランホーファー研究機構 (応用研究)  
「インダストリー4.0の現状と展開」

ヴィットマン社・Münchner Recycling GmbH  
(リサイクル企業)

「ドイツの環境リサイクル対応とヴィットマン社の取り組み」

WeWork (コワーキングスペース運営)  
「多様な働き方を実現させるための取り組み」

Missionpharma (医薬品製造・販売)  
「従業員満足度向上のための取り組みについて」

SOK Corporation (生活協同組合)  
「CSR (企業の社会的責任)について」

イッタラ (製造・小売)  
「ブランド価値の創造と海外戦略」

ヴェオリア・エンバイメント (環境サービス)  
「ダイバーシティ・マネジメントについて」

## ■本コースの特徴

### 1. EUセミナー

欧州の専門家より EU および周辺国・地域の動向  
や最新のビジネストレンド、国民性の違いなどを学ぶことにより、グローバル感覚の向上を図ります。

### 2. 企業訪問

優れたワークライフバランス施策の実施やSDGsなど  
社会課題解決への取り組み事例からエッセンス  
を学び、日本企業が進むべき道を探ります。

### 3. 団体・政府機関訪問

産官学連携によるイノベーション支援などに見られる  
日欧の政策の違いや企業の取り組みに関する  
理解を深めます。

### 4. 産業人との懇談会

現地ビジネスパーソンとの交流から働き方や人生  
観の違いを理解すると同時に、多様な人々と調和  
できるコミュニケーション能力向上を目指します。

## 研修の流れと団運営の仕組み

### 国内研修



### 海外研修



### 報告書作成

- 現地プログラムと日程の説明
- 訪問先への関心事項の検討
- 海外渡航・滞在都市事情のご案内など

- 現地セミナー、企業・団体訪問、産業人との交流プログラム
- 団員相互による研修テーマについての意見交換
- 研修成果の発表
- 各国事情に精通した現地スタッフまたは当本部職員の同行によるきめ細かな情報提供

- 訪問記録、研修所感のまとめ

## 事前研修会

### アメリカコース

2020年9月25日(金) 13:30~18:00

### ヨーロッパコース

2020年10月5日(月) 13:30~18:00

- 会場は、日本生産性本部内会議室もしくは、都内会議室となります。
- 上記日程の変更が生じる場合は、事前にご連絡いたします。
- 事前研修会の約3週間～1ヶ月前に開催案内、諸手続きのご案内をお送りします。

## 研修費

コース	航空機	ホテル	食事	申込時期/条件	研修費（10%税込◎国内経費のみ対象）	
					賛助会員	一般
アメリカコース	エコノミー	ツイン	全朝食・昼食1回 ・夕食2回	2020年7月末まで 参加者確定申込☆	早期申込割引 799,000円	早期申込割引 899,000円
				上記以外	849,000円	949,000円
ヨーロッパコース	エコノミー	ツイン	全朝食・昼食1回 ・夕食2回	2020年7月末まで 参加者確定申込☆	早期申込割引 799,000円	早期申込割引 899,000円
				上記以外	849,000円	949,000円

※お申込み〆切

アメリカコース:2020年8月17日(月)必着

ヨーロッパコース:2020年8月31日(月)必着

☆早期申込割引での申込は、申込後に参加者氏名変更の場合は通常料金での請求となり、差額をいただきます。

◎研修費には国内経費55,000円(10%税込み)が含まれています。尚、消費税は国内経費のみ対象となります。

※研修費には、燃油特別付加運賃は含まれておりませんので、研修費に加算してご請求申し上げます。なお、2019年12月現在の燃油特別付加運賃の目安は21,200円(米国方面)、27,200円(欧州方面)です。

※上記研修費は2019年1月現在の航空運賃によるものです。航空運賃が改定された場合、研修費を変更させていただく場合があります。

※本研修企画は日本生産性本部、旅行実施は取扱旅行社が行います。

※最少実施人員に達しない場合は、中止または延期致します。出発日の1ヶ月前までにご連絡申し上げます。

※パスポートの有効期限は、アメリカコースは滞在期間+6ヶ月以上、ヨーロッパコース(チェコ・ドイツ)は滞在期間+3ヶ月以上が必要になります。

※天変地異、戦争、暴動、社会騒擾、疫病等が発生し、参加者の安全確保および研修実施に支障をきたす恐れがある場合は、企画変更または中止とさせていただく場合があります。また、上記理由による企画中止の際、運送・宿泊機関があらかじめ取消料・違約料を明示していた場合はこれらの合計金額以内を取消料として申し受けられる場合があります。

※運送・宿泊機関等の旅行サービス提供の中止、官公署の命令その他の当本部又は当本部の手配代行者の関与し得ない事由により損害を被った場合、また、参加者の生命又は身体の安全確保のため必要な措置により損害を被った場合、当本部はその損害を賠償する責任を負うものではありません。(航空便の遅延・運休、疾病者発生による入国制限等)

### 研修費に含まれるもの

- 運営業務費（プログラム企画・運営費、通訳・スタッフ同行費、訪問先関係費、報告書作成費等）
- 事前研修費（資料費、会場費、講師費等）
- 団体エコノミークラス航空運賃（ビジネスクラスをご希望の方は確認の上、差額にて承ります）
- 成田または羽田空港施設使用料、各国空港諸税
- ホテル部屋代（一室2名）（お一人部屋をご希望の方は確認の上、差額にて承ります）
- 海外旅行者傷害保険（2,000万円まで付保。但し、傷害死亡、後遺障害のみ）
- 一部食事代（上記記載分（コースにより異なります）、飲み物代は含まれません）
- 現地陸上交通費（空港・ホテル・訪問先への移動、市内観察における専用バス代（※）、ガイド代、列車代、チップ代等）
- ※一部、公共交通機関を使用した移動を自己負担にて体験していただく場合がございます

### 研修費に含まれないもの

- 燃油特別付加運賃（2019年12月時点では、21,200円（米国方面）、27,200円（欧州方面））
- ESTA申請料および手数料（アメリカ方面への視察のみ） ●上記に掲載されていない食事代（機内食は除く）
- 現地オプショナルツアーワーク ●その他個人的経費（ホテルにおける個人的なチップ代、電話代、クリーニング代、飲食代等）
- 集合時及び解散後の交通費・宿泊費・超過手荷物料金・旅券・査証取得費用・任意の海外旅行傷害保険料

### 取消料金

- 研修開始出発日の前日から起算し、さかのぼって45日以降15日まで：研修費の20%
- 研修開始出発日の前日から起算し、さかのぼって14日以降7日まで：研修費の50%
- 研修開始出発日の前日から起算し、6日以降の取消し、または不参加の場合は、全額申し受けます。

## 参加者の声

アメリカコース	ヨーロッパコース
■今回の研修においては、自社の企業活動におけるヒントだけでなく、これから日本社会、経済をグローバル視点で考えるとてもよい機会となった。実際に自分の目で見て、耳で聴いて体感することは、日本に居ての学習とは異なる刺激があった。(40代・小売)	■研修の趣旨に掲げられている様に、異なる環境で多様な人々と意識を合わせる事が出来るコミュニケーション、環境の相違を踏まえながら、戦略・戦術をつくり着実に実行する・させる能力の向上および異文化の環境下で実際に体験し、学ぶ事が出来ました。(50代・金融)
■今回の研修では、アメリカ企業や一般家庭への家庭訪問を通じて、アメリカ人の考え方、習慣、価値観等を直に接して感じることができました。今後の人生の中で糧になると感じています。(40代・インフラ)	■私たちが日本で目指している働き方を実践している企業を訪問させていただき、驚きとともに目標が明確になった思いがしました。(40代・小売)
■日常の業務を離れ、普段と違う環境で過ごした日々は刺激的で、文化や価値観、歴史など世界の広さを改めて肌で感じることが出来ました。(30代・メーカー)	■異業種・異職種の団員の皆様とも多くの時間を共有させていただき、意見交換だけでなく深い信頼関係も築くことができました。(30代・航空)
■ある有名企業にて学んだCSR活動は単なるボランティア活動ではなく、地域に貢献する事と共に、将来の自社へのメリットを考え活動を行っており、印象に残った視察となりました。(40代・メーカー)	■今回の研修では、自分の知らない世界のことを、見て知ることができ、かつ日本と欧州の違いを、自分の眼と耳で感じることができました。(30代・インフラ)
■団員は、金融機関、メーカー、商社等様々な職種に携わる方々から構成されており、訪問先での多角的な質疑や、懇親の場における情報交換等の異業種交流を含め、大変有意義な研修となりました。(50代・金融)	■今回の研修では、企業だけでなく現地のビジネスパートナーとも交流させていただきました。人種や文化の違い、そして何よりビジネスに取り組む姿勢を学べたことは、今後の自分にとって大きなプラスになりました。(40代・食品)

※お申込の際にご一読ください。

### <個人情報の取り扱いについて>

公益財団法人日本生産性本部では、皆様の個人情報を以下のように取扱います。契約内で個人情報について記載がない場合でお申込者とご参加者が異なる場合は、ご参加者の同意をいただいた上で、お申込みください。同意いただけない場合は、適切なサービスを受けられない場合がございます。同意いただいた後でも個別に不同意の表明をすることが可能です。

【本視察団の訪問国：アメリカ合衆国、チェコ共和国、ドイツ連邦共和国】

#### ①利用目的

- ・本研修に関する資料作成、連絡、事前資料等の配布、開催当日での使用
- ・運送・宿泊機関・訪問先等が有するサービスの手配とサービスの受領
- ・イベント・セミナーの開催情報のご案内
- ②特に申し出がない限り通常業務の必要な範囲（訪問先、講師、参加者等の関係者に限った名簿の配布、運送・宿泊機関及び旅行業者のサービスを受領するため等）において第三者に提供することがあります。
- ③本事業かかる資料の配布、開催当日の受付、報告書の印刷、ならびに、次回の案内状送付のため、業務の一部を委託しております。
- ④本部は個人情報を共同利用することがございます。取扱いにつきましては本部WEBサイトをご参照ください。
- ⑤今回取得する個人情報について、開示、訂正、削除、利用停止等を求めることが可能です。以下までご連絡ください。

公益財団法人日本生産性本部 グローバルマネジメントセンター 「グローバルマネジメント研修」事務局：03-3511-4030

公益財団法人日本生産性本部  
個人情報保護管理者 総務部長

#### お申込・お問い合わせ

公益財団法人 日本生産性本部 グローバルマネジメントセンター

#### 「グローバルマネジメント研修」係

住所：〒102-8643 東京都千代田区平河町 2-13-12

TEL：03-3511-4030 FAX：03-3511-4057

WEB：[日本生産性本部 ホームページ](#)で検索 ⇒ テーマ別研修 グローバル人材育成 生産性



FAX: 03-3511-4057

ご参加申込書締切日

アメリカコース : 2020年8月17日(月)

ヨーロッパコース : 2020年8月31日(月)

2020年度「グローバルマネジメント研修」参加申込書

お申込日 : 年 月 日

組織名	参加者およびご派遣担当者が本パンフレット6頁の「個人情報の取扱いについて」に同意した上で参加を申し込みます。いかれかにチェックをしてください。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 同意します <input type="checkbox"/> 同意しません	
所在地	<u>お申込責任者</u> ふりがな 氏名 : 部署・役職 :	
TEL	<u>ご派遣担当者</u> ふりがな 氏名 : 部署・役職 :	
FAX		
当本部の賛助会員の区別 (該当するものに○をつけてください)	メールアドレス : 夜間緊急連絡用電話番号(必須)* :	
当本部会員 <input type="radio"/> 全国本部会員 <input type="radio"/> 未会員		

\*渡航中の緊急時にご対応可能な番号を必ずご記入いただきますようお願い致します。

参加者氏名記入欄

参加コース	ふりがな 参加者氏名	参加者氏名 アルファベット*	部署・役職名	ご所属先住所・ご連絡先	
(例) アメリカ コース	やまと たろう 大和 太郎	TARO YAMATO	営業部 課長	〒 102-8643 東京都千代田区平河町 2-13-12 TEL:( 03 ) 3511 -4030      FAX:( 03 ) 3511 -4057	
年齢 40 才	性別 <input checked="" type="radio"/> 男 · 女	パスポート <input checked="" type="radio"/> あり · なし	追加希望 <input checked="" type="radio"/> ホテルシングル · 飛行機ビジネス	資料送付先 <input checked="" type="radio"/> ご派遣担当者 · 参加者ご本人	
参加コース	ふりがな 参加者氏名	参加者氏名 アルファベット	部署・役職名	ご所属先住所・ご連絡先	
コース				〒 TEL: ( ) - FAX: ( ) -	
年齢 才	性別 男 · 女	パスポート あり · なし	追加希望 ホテルシングル · 飛行機ビジネス	資料送付先 ご派遣担当者 · 参加者ご本人	
参加コース	ふりがな 参加者氏名	参加者氏名 アルファベット	部署・役職名	ご所属先住所・ご連絡先	
コース				〒 TEL: ( ) - FAX: ( ) -	
年齢 才	性別 男 · 女	パスポート あり · なし	追加希望 ホテルシングル · 飞行機ビジネス	資料送付先 ご派遣担当者 · 参加者ご本人	

\*パスポートと同じアルファベットを記入してください。